

平成 24 (2012) 年さけます来遊状況 (9/30 現在)

1 カラフトマス来遊状況

独立行政法人水産総合研究センター
北海道区水産研究所 さけます資源部

- ・来遊数は 219 万尾 (対前年同期比 : 39.7%、対平年*1 同期比 : 23.6%)
- ・オホーツク海区を含む日本海側で 198 万尾 (対前年同期比 : 38.8%)、根室海区を含む太平洋側で 21 万尾 (対前年同期比 : 52.1%)
- ・9 月末までの来遊数は、平成元 (1989) 年以降で最も少ない

*1 : 平年とは、平成元 (1989) ~平成 23 (2011) 年の平均値

(北海道)

9 月 30 日現在、北海道のカラフトマス来遊数は 219 万尾 (対前年同期比 : 39.7%、対平年同期比 : 23.6%) となっています。

カラフトマスの来遊数は隔年変動することが多く、北海道では平成 16 (2004) 年以降、奇数年が豊漁年、偶数年が不漁年に相当します。今年是不漁年の年回りですが、9 月末時点の来遊数を比較すると、最近の偶数年で最も少なかった平成 18 (2006) 年の 554 万尾を大幅に下回り (表 1)、平成元年以降で最も少なくなっています (図 1)。

表 1. カラフトマス来遊数 (北海道) 単位 : 万尾

来遊年	9/30 現在	最終
2003(H15)	1,179	1,184
2004(H16)	585	587
2005(H17)	914	918
2006(H18)	554	559
2007(H19)	1,488	1,491
2008(H20)	703	704
2009(H21)	1,107	1,111
2010(H22)	729	731
2011(H23)	551	553
2012(H24)	219	-
平年	928	935

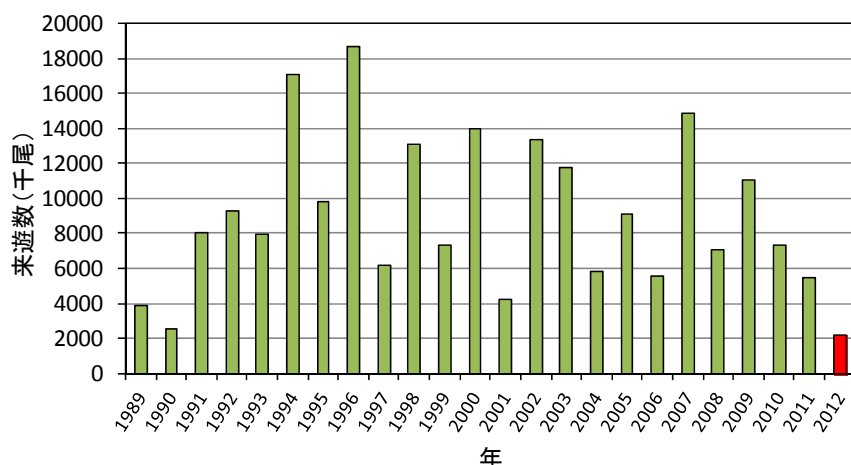


図1. 7月1日～9月30日までのカラフトマス来遊数（累計値）。2012年は速報値。

地域別にみると、日本海側（オホーツク海区及び日本海区、以下同）では198万尾（対前年同期比：38.8%、対平年同期比：25.0%）、太平洋側（根室～えりも以西海区、以下同）では21万尾（対前年同期比：52.1%、対平年同期比：15.4%）と太平洋側、日本海側ともに、前年同期および平年同期に比べて来遊数が目立って少なくなっています。

ふ化放流に必要な種卵を確保するために、カラフトマスの主産地である網走および根室管内の沿岸漁業者が自主規制措置等の対策を講じましたが、来遊数の減少にともなって、カラフトマスの河川捕獲数は25万尾（対前年同期比：43.1%、対平年同期比：27.8%）となっています。

9月末時点の河川捕獲数は、最近の偶数年の中で最も少なかった平成16（2004）年の64万尾を下回り、今年が最も少なくなっています（表2）。また、河川捕獲数の減少にともない、9月末時点の全道の総採卵数は1億624万粒（対前年同期比：71.9%、対平年同期比：69.1%）となっています。

表2. カラフトマス河川捕獲数（北海道） 単位：万尾

捕獲年	9/30 現在	最終
2003(H15)	114	118
2004(H16)	64	65
2005(H17)	85	89
2006(H18)	88	94
2007(H19)	141	144
2008(H20)	91	92
2009(H21)	128	131
2010(H22)	85	87
2011(H23)	58	59
2012(H24)	25	-
平年	90	97